

## 環境教育関係事業について

(平成 25 年度実施結果及び今後の予定)

### 環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

- (1) 人材の育成
- (2) 情報の共有・活用
- (3) プログラムの作成
- (4) 機会づくり・場づくり

### (1) 人材の育成

#### ◆札幌市教育センターにおける研修

札幌市教育センターでは、札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的とした研修を実施しており、その研修の中で「教育課題研修コース（環境教育Ⅰ～Ⅲ）」や「教職基礎研修コース（環境教育の基礎）」といった、環境教育に関する専門的研修講座を設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。

#### ◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣

学校の授業における「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

【派遣実績（件数） ※（ ）内は参加人数】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
環境教育リーダー ＜登録者数 30 人＞	44 件 (2,311 人)	55 件 (2,415 人)	74 件 (3,717 人)	101 件 (5,620 人)	141 件 ※ (8,459 人)
環境保全アドバイザー ＜登録者数 19 人＞	26 件 (2,024 人)	37 件 (2,087 人)	33 件 (2,498 人)	37 件 (2,332 人)	42 件 ※ (2,660 人)

※ 平成 26 年 2 月末現在

#### ◆札幌市環境プラザにおけるリーダー育成

##### ① こどもエコクラブ

平成 22 年度から、環境プラザが「こどもエコクラブ」を設立して活動を行なっています。子どもたちが、さまざまな場において環境リーダーとなって活躍することを目指しています。

平成 25 年度は全 20 回の活動で、子どもたちの環境学習をサポートしました。10 回以上活動に参加することができた子どもたちに「ジュニアエコリーダー」の認定証を交付しました。

## ② 市民講座の開催

市民向けに様々な環境分野に関する講座、研修を行うことにより、環境保全の意識の醸成を図り、環境活動を始めようとする方のきっかけづくりや、リーダーとして活動を行う方を育成することを目指します。

今年度は、環境プラザ 10 周年事業として、トークカフェ「この人に聞きたい！」を開催し、様々な分野で環境に関わる活動をしている講師を招き、インタビュー形式で話を聞きながら、参加者の今後の活動につなげる機会とすることができました。ほかにも環境に配慮したライフスタイルを身に付けてもらうため「環境の村エコセミナー」などを開催しました。

## ◆環境に関する学習活動・研究実践校事業（25 年度はモデル 7 校）

25 年度は、環境をテーマにした先進的な取組（例：地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、太陽光パネルを活用した学習活動、児童・生徒会・地域の保護者との連携を活用した学習活動等）を各研究実践校が実践研究を行い、その成果を各学校に普及啓発してきました。

## ◆エネルギーに関する環境教育の推進

学校においてエネルギーや CO<sub>2</sub> について体感し、学び考えることができる設備の整備（見える化）を行っています。この設備を活用し、子どもたちのエネルギーに関する意識を醸成し、自発的に行動できる人材を育成することを目的としているほか、子どもたちから家庭へ、また、将来的に学校との連携により地域へ、省エネ意識・省エネ行動等、環境配慮行動の波及につながることを目指しています。

これまでに下記 3 校の設備整備を行いました。

平成 23 年度整備校：札幌市立百合が原小学校（北区）

平成 24 年度整備校：札幌市立平岸中学校（豊平区）

平成 25 年度整備校：札幌市立南郷小学校（白石区）

また、設備のない学校にも同様の学習を拡大するため、小学生向けに見える化設備の模擬体験が行える環境教育教材を作成しました。

## 今後の予定

教員に対する研修については、教育委員会と連携して、教育センターにおいて環境教育に関する研修を継続して実施していきます。また、環境プラザにおいても、教員のスキルアップのための研修を新たに行います。

また、環境プラザの「こどもエコクラブ」の活動は 26 年度も継続し、さらに市民を対象とした様々な講座を行うことで、人材の育成を行います。

環境に関する学習活動・研究実践校事業については、26 年度は「太陽光パネル活用等に関する学習活動研究実践」と「地域・外部人材を活用した自然環境に関する学習活動研究実践」の二つに分けて、それぞれ 5 校を研究実践校として実践研究を行い、全ての学校に研究成果等を提供することで、環境教育の充実を図る予定です。

エネルギーに関する環境教育の推進については、26 年度はエネルギー学習をより効果的に実践

できる教材の作成などを検討する予定です。

## **(2) 情報の共有・活用**

### **◆環境プラザホームページ**

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。アクセス件数は増加傾向であり、特にキッズページのアクセス数は大きな伸びを示しています。現在、ホームページのアクセス解析を進めており、その結果を今後のホームページ運営に活かし、ホームページのさらなる充実を図っていきます。

#### **【ホームページアクセス件数】**

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
環境プラザHP	152,416	153,785	116,185	128,034	150,610 ※
キッズページ	2,311	2,017	2,053	6,303	12,179 ※

※ 平成 26 年 2 月末現在

### **◆かんきょう元気新聞**

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成 25 年度は、9 月に第 12 号、12 月に第 13 号と 2 回発行しました。

第 12 号は「地産地消」をテーマとし、給食のフードリサイクル、フードマイレージ、生物多様性を盛り込んだ内容としました。第 13 号では「節電」をテーマとし、実際に子どもたちに家庭で節電に取り組んでもらい、電力使用量・電気代の削減効果を検証したほか、ウォームシェアについても取り上げました。 ※ 配布対象：札幌市立小学校・中学校の全クラス

### **◆環境教育関連施設連携事業の実施**

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクトにおいて、情報を共有・活用するとともに、より効果的な環境教育を行うため、環境プラザを中心として施設間の連携を進めています。

今年度は、継続事業である「親子でまるごと鮭体験」を札幌市豊平川サケ科学館と連携し、実施しました。

また、青少年科学館科学館主催の「新春初科学体験 2014」で以下の連携事業を行い、211 人が参加しました。

- ・ イベント会場で環境プラザの発電体験コーナーを出展  
手回し発電機体験により、LEDライトと電球の消費エネルギー比較を行ったほか、小型風力発電機を利用して再生可能エネルギーの学習を行いました。
- ・ 環境プラザのオリジナル体験型プログラム「エコまちがいさがし」を実施  
普段の暮らしの中でのエコまちがいについて考えるもので、家庭生活での環境行動について普及啓発を行いました。

そのほか、環境プラザで平成 22 年以降作成している「みんなでおでかけポケットブック」(市内環境関連 12 施設ガイド)の内容を見直し、10,000 部増刷しました。

## 今後の予定

子どもたちの環境への意識をより高めることができるよう「かんきょう元気新聞」の内容のさらなる充実を図るほか、環境プラザのホームページやブログを活用し、効果的な情報提供を行います。

また、青少年科学館を始めとした環境関連施設などと環境プラザの連携をいっそう強化し、より効果的に環境教育を進めていきます。

## (3) プログラムの作成

### ◆総合的環境副教材・教師用手引書

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」について、「教師用手引書」とともに平成 26 年度配布版として改訂を行い各学校に配布しました。

この「札幌市総合的環境副教材」は「教育課程編成の手引き」（札幌市教育委員会作成）に参考とする資料として引用されています。

また、昨年度（平成 25 年 3 月）に小学校の教員を対象として行った、副教材の活用状況等に関するアンケート調査によれば、授業等で活用している教員は約 4 割、使用しない教員の理由の約 8 割が授業に取り入れる時間がないといった内容でした。これらの結果を受けて、27 年度配布版に向けた検討を進めています。

### ◆環境プラザにおける学習プログラム

環境プラザの展示物を利用した施設見学者向け環境教育プログラムや、出前事業等の体験型学習プログラムを見直し、充実を図り、学校等で行う出前事業（26 年度実施予定）にも活用できるよう検討を進めています。

## 今後の予定

前述の副教材のアンケート結果を参考にして、子どもが読みやすく、教科に位置づけた内容を充実させ、札幌の特性を打ち出すなど、平成 27 年度配布版副教材の作成に向けて具体的に検討し、26 年度中に内容全般について見直しを行う予定です。

また、環境プラザにおいて、オリジナルプログラムの一層の充実を図り、26 年度中に学校に出向いて授業の中で試行的に環境教育プログラムを実施するほか、一般の方が手軽にプログラムを実践できるよう支援します。

## (4) 機会づくり・場づくり

### ◆校外学習用バス貸出

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
応募校数	71 校	77 校	71 校	107 校	129 校	114 校	103 校
利用校数	43 校	54 校	69 校	88 校	70 校	61 校	46 校
バス利用台数	94 台	115 台	152 台	184 台	153 台	133 台	94 台

※ 校数・バス利用台数はのべ数 平成 19 年度事業開始。平成 21 年度から対象を中学校も対象。

<主な見学先（平成 25 年度）>

見学先	見学校数（のべ）
水道記念館（藻岩浄水場含む）	27
中沼リサイクル団地	13
白石清掃工場	12
モエレ沼公園	8
発寒清掃工場	5
駒岡清掃工場	4
下水道科学館	4
サッポロピリカコタン	4
円山動物園	3
定山溪ダム（資料館含む）	3

#### ◆環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成 17 年 5 月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成 25 年度は、36 の小中学校に、電力量表示器（ワットチェッカー）や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。（現在の協力企業は 9 社）

#### ◆環境プラザにおける総合学習支援等

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を行いました。

また、出前事業「環境プラザがやってきた」では、さまざまな環境イベントにおいて、体験学習を行いました。（水道フェスタ 2013、下水道科学館フェスタ 2013、東区児童会館まつりなど）

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を実施しています。

#### ◆かんきょうみらいカップ 2013

サッカー・卓球といったスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ 2013」を開催しました。

##### ① サッカー部門

8 月 7（水）札幌サッカーアミューズメントパークで開催し、375 人（55 チーム）が参加しました。サッカーや環境クイズ、リレーゲームのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。今年度は開催 10 周年を記念し、元コンサドーレ札幌選手による講演なども行いました。また、当日高得点を獲得した上位 8 チームが、11 月 24 日の「コンサドーレ札幌 対 ギラヴァンツ北九州」（札幌ドーム）のカーテンレザーマッチ（前座試合）に出場しました。

##### ② 卓球部門

4月13日のホープス以下の部、7月26・27日のカデットの部で出場者にサッカー部門同様「環境体験・活動カード」を提出してもらい、優秀な取組については表彰を行いました。

### ◆さっぽろこども環境コンテスト

小中学生の環境活動を発表する「さっぽろこども環境コンテスト2013」を、平成25年11月30日（土）に開催しました。今年度は、小学生の部5校、中学生の部5校のほか、審査の対象ではありませんが特別発表として藤女子高等学校の生徒さんにも発表していただきました。

[審査員]	審査員長	北海道大学 名誉教授	太田 幸雄 氏
	審査員	丸山環境教育事務所 代表	丸山 博子 氏
	審査員	札幌市立大通高等学校 学校長	富田 淳一 氏
	審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	宮佐 直紀

[発表団体] ◎：最優秀賞受賞団体 ○：優秀賞受賞団体

小学生の部	中学生の部
◎札幌市立百合が原小学校	藤女子中学校3年有志
川北児童会館エコクラブ	札幌市立稲積中学校
札幌市立駒岡小学校	◎札幌市立宮の森中学校
○札幌市立西白石小学校	○札幌市立定山溪中学校
札幌市立北光小学校	札幌市立平岸中学校生徒会

#### 今後の予定

既存事業を見直しながら、次世代を担う子どもたちの環境活動の実践に向け、より効果的な機会づくり・場づくりを図るなど、環境教育の取組をより一層充実させていきます。

また、児童・生徒への学習機会の充実を図るため、学校と企業とのマッチングを環境プラザで企画します。企業における環境配慮の活動を調査し、学校のニーズとの組み合わせを行います。

## (5) その他

### ◆環境プラザ展示物更新

東日本大震災以降、エネルギーへの関心が高まっています。市民の学習ニーズに即した内容とし、より効果的な情報提供や実践的な学習を可能とするため、26年度にエネルギー教育に重点を置いた展示に更新する予定です。これに向けた準備の仕方等を検討しています。

#### 今後の予定

環境プラザの展示物について、家庭で使用するエネルギー（電気・水・ガス）の量をモニター等で表示し、その使い方をゲーム感覚でシミュレーションしながら賢いエネルギーの使い方を学び、日常生活に生かすことができるような展示コーナーに改修します。また、展示物の一部を可搬式にし、出前講座等で幅広く活用できるようにします。

なお、展示物の更新にあたっては、幅広く市民の意見を取り入れながら、市民ニーズや社会情勢に即した展示内容となるよう努め、環境教育をより効果的に進めることができる内容とします。

